

Sanyo Global Action

～世界のSanyo Special Steelへ～

世界の鉄鋼マーケットは、日本国内の人口減少、世界的な保護主義化の動き、お客様のグローバル展開に伴う現地調達化の進展、自動車産業におけるCASE革命、再生可能エネルギーの利用拡大、製造業・サービス業におけるロボット活用など、社会・産業構造の変化に直面しております。

このようななか、特殊鋼製品は、産業における重要部品の素材として使用されており、今後も堅調な需要の伸びが期待されるとともに、高品質な特殊鋼製品のニーズはより一層高まっていくものと考えられます。一方、特殊鋼マーケットにおける国内外の競争は激化しており、技術力・商品開発力・コスト競争力を強化していくことが必要であります。

当社は第10次経営計画「Sanyo Global Action 2019」に掲げたとおり、経営理念「信頼の経営」のもと「高信頼性鋼の山陽」のグローバルブランド化を推進してまいりました。

2018年6月に、持分法適用関連会社であったインドの特殊鋼メーカーMahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd. (MSSS)を連結子会社化したことに加え、2019年3月に日本製鉄の子会社となると同時に欧州における有力な特殊鋼メーカーであるスウェーデンのOvako ABを完全子会社化しており、特殊鋼一貫製造拠点を日本・欧州・インドに構えております。素形材事業の6極体制も加え、国内外のお客様のグローバル化進展と高度・多様化するニーズへの対応力を強化する体制を整えました。

成長するインド市場で、グローバルネットワークの拡充

インドの特殊鋼需要は、現在の年間約4百万tから、2030年には年間約1千万tまで大きく拡大し、日系を含む顧客の現調化ニーズや品質要求もさらに高まると見込まれています。

当社はこれまで、MSSSに品質改善、コスト低減、生産性向上などの技術支援を進めてきましたが、今後は、技術支援の枠を超えて、生産・品質・営業など全方位的な押上げを図り成長するインド市場でグローバルネットワークを拡充することで、「高信頼性鋼の山陽」のさらなるグローバルブランド化を推進します。



山陽特殊製鋼のグローバル事業拠点



3社連携によるシナジーの追求



当社は、日本製鉄グループの一員として、持続的な成長を図るための安定した経営基盤を構築するとともに、Ovakoを完全子会社したことで世界的に有力な市場のひとつでもある欧州市場において確固たる足がかりを確保しました。

今後は、Ovakoとの世界トップレベルの高精浄度鋼製造技術の融合や、営業・販売・物流ネットワークの相互活用などの3社連携によるシナジーの追求を通じて、グローバルマーケットにおけるさらなる競争力強化と企業価値向上を図っていきます。

グループ全体での効率的生産の追求	お客様への対応力強化	調達コスト削減
<ul style="list-style-type: none"> ・地域別最適生産体制構築 ・操業ノウハウ共有 ・海外生産拠点・物流網の相互活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業・販売ネットワーク相互活用 ・共同研究開発による提案力強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・原料輸送効率化 ・集中購買